

地域安全学会

2013年度第5回理事会 議事録

日 時：2013年11月15日（金） 17：15～19：00

場 所：静岡県地震防災センター（静岡市葵区駒形通り5-9-1） 3F 会議室

出席者：宮野道雄、立木茂雄、糸井川栄一、池田浩敬、市古太郎、岩田孝仁、大西一嘉、柄谷友香、
重川希志依、庄司学、田中聡、牧紀男、松岡昌志、目黒公郎

委任状：大原美保、岡田成幸、清野純史、佐土原聡、能島暢呂、村尾修、村上ひとみ

欠 席：加藤孝明、越村俊一、森伸一郎、矢代晴実

事務局：竹本加良子、上木美貴恵

- 配布資料：25-5-1 2013年度第5回理事会議事次第（宮野）
25-5-2 2013年度第4回理事会議事録案（寺島）
25-5-3 選挙管理委員会資料（能島）
25-5-4 J-STAGE 掲載に向けた進捗報告（松岡）
25-5-5 阪神・淡路大震災20周年事業へのご協力について（宮野）
25-5-6 地域安全学会 HP 更新マニュアル（庄司）
25-5-7 ニューズレター86号（案）（柄谷）
25-5-8（1） 地域安全学会 会員数・会費納入状況（竹本）
25-5-8（2） 事業別損益計算書（竹本）

議題：

1. 前回議事録の確認（宮野：資料25-5-2）

今回の理事会の議事録の議事録署名人は、宮野先生と井野先生にお願いします。

2. 会勢・会員管理関係（竹本）

1) 会員数・会費の納入状況について（竹本：資料25-5-8（1））

H25/11/14(木)時点での会員数・会費納入状況は以下の通りである。

	学生会員	正会員	総数
会員数	86	568	654

	学生会員	正会員	総数
H25年度会費 納入者	40	401	441
H25年度会費 未納入者	46	167	213

	学生会員	正会員	総数
H24年度会費 納入者	40	479	519
H24年度会費 未納入者	23	47	70

年会費の未納者にはメールで督促を出す。その際に、学会のゆうちょ銀行の口座番号を振込先として掲載する。

2) 事業別損益計算書の項目について（竹本：資料25-5-8（2））

事業別損益計算書について、会計事務所から提案の勘定科目を副会長、各事業担当の理事、事務局で吟味し、次回の理事会で検討できるよう準備を進める。

3. 選挙管理委員会関係（能島：資料 25-5-3）

1) 地域安全学会役員選挙規定の改廃について

地域安全学会役員選挙規定（以降、「規定」とする。）について、理事会で改廃を検討し、検討結果を次回の総会で議論にかけ、規定の改廃を決定することとする。

2) 次年度の役員選挙について

ただし、次年度の役員選挙が迫っているため、選挙の日程、対象人数等をニューズレターで流し、選挙の準備を進める。

選挙管理委員会を設置する。構成メンバーは、能島委員長、清野副委員長、岩田理事、加藤理事、重川理事の5名。

改選対象は、今期で任期を終える理事13名と監事1名。

立候補者の届け出期間は、2013/11/25（月）～2013/12/13（金）、投票期間は、2014/2/28（金）～2014/3/10（月）である。

理事の5名分の空席のうち、2～3名を若手の理事を登用するかどうかは、役員選挙への立候補者の状況を見て、次回の理事会で検討する。

監事を定員の3名まで増員するかどうか、次回の理事会で検討する。

学会のホームページにある会則を削除し、定款を掲載する。定款のデジタルデータについては、事務局からホームページ担当理事に送付する。

4. 東日本大震災連続ワークショップ 2013 および 2014 について（宮野）

2013年度の大船渡でのワークショップは無事に終了した。

2014年度もワークショップを継続すること、開催地を田老町で進めることで理事の了承を得た。開催時期は10月の予定として現地と調整し、次回以降の理事会で報告・検討する。

5. 学術委員会関係および J-STAGE 掲載について（田中・松岡：資料 25-5-4）

J-STAGE にて、電子ジャーナル No. 20 を 11/8（金）から公開した。J-STAGE の仕様上必要になる Vol 番号には、地域安全学会の No を入れている。

J-STAGE へのアップロード作業について、今年度は田中先生、松岡先生が担当し作業内容を整理する。来年度以降、事務局の作業に位置付けるかどうかは、別途検討する。

6. 表彰委員会関係（大西）

優秀発表賞の選考は3階会議室で、14時から15分程度を予定しており、審査員2名の選考結果について検討する。

参加者は、表彰委員のメンバー、会長、副会長、学術委員会委員長・副委員長、電子ジャ

一ナル部会長・副部会長、秋季研究発表会実行委員長。

懇親会で優秀発表賞の受賞者名を発表し、表彰した。

7. 防災学協会連合組織（牧・加藤）

地域安全学会の活動と宮野先生個人の活動をレポートにまとめてシンポジウムに提出する。

シンポジウムのテーマである「南海トラフ地震にいかに向き合うか」に合わせ、地域安全学会としては、平成 16 年 和歌山県田辺市および平成 19 年 愛媛県愛南町で開催した総会、査読論文等で発表されている南海トラフ地震の研究成果、次の巨大地震をにらんで開催している東日本大震災連続ワークショップの活動をレポートに掲載する。

8. 広報委員会関係（柄谷・庄司）

1) ニュースレターについて（柄谷：資料 25-5-7）

2014 年 2 月 86 号（案）の目次について、国際交流委員会の 6 番に ICDR の米国への渡航費用のお知らせと台湾研究調査の報告を追加する。

台湾研究調査について若手研究者の会を発足したいという要望がある。ツイッター・FB ですでに活動を始めており、この件についてもニュースレターに掲載する。

ニュースレター案が確定しだい、メールで周知する。

2) 新しい HP について（庄司：資料 25-5-6）

理事は任意でホームページの内容を更新することができるため、担当する委員会の内容を最新の情報に更新するなど、気付いたことがあれば随時更新する。

理事会専用ページについて、2013 年の理事会の配布資料と議事録は、事務局がアップロードする。今後の理事会資料は、基本的に資料の作成者がアップロードし、後日、ファイル名に資料番号を付ける。

9. 2014 年度秋季研究発表会（池田）

来年の秋季大会の会場は、今年度と同じ、静岡県地震防災センターとし、開催日程は、平成 26 年 11 月 7 日（金）、8 日（土）とする。

10. 2014 年度春季研究発表会（市古）

阪神・淡路大震災 20 周年を迎える年度行事として神戸での開催とし、次回の理事会で開催日時等を報告する。

11. その他

1) 「阪神・淡路大震災 20 周年事業」 への協力について (宮野 : 資料 25-5-5)

再来年の 1 月で阪神・淡路大震災の 20 周年を迎えるため、来年度の春季大会と総会を「阪神・淡路大震災 20 周年事業」の一環と位置付ける。

2) 台湾フィールド調査についての報告 (国際交流委員会)

調査期間は 10 月 21 日～10 月 25 日。参加国は、アメリカ、日本、ニュージーランド、台湾であった。台湾を除いた海外からの調査員 24 名のうち、地域安全学会からは 14 名参加しており、一番大きなデリゲーションであった。また、このうち 4 名 (うち若手 3 名) の方の旅費については、CGP の助成金で賄われた。

台中で 921 地震の復興状況を視察し、台湾南部で現地の方の復興団地を視察した。

来年も地域安全学会の若手の方を中心に調査に参加する予定である。

○ 次回理事会 1/25 (土) 14:00～17:00

出席代表理事 宮野 道雄



監 事 井野 盛夫

